

後援会通信「グロース」秋号

GROWTH

—大学と家庭をむすぶ—

Linking the University with Families

2009 Autumn

vol.

15

学窓に刻まれし歴史を旅する。



▲1953年に完成した「シュネーダー記念図書館」には、聖句「エホバを畏るゝは知識の本なり」(津田郁筆)が掲げられた。

写真は建設中のシュネーダー記念図書館。民主制度の基盤をなす“知的自由”、その源である図書館の創設は、教職員、ならびに学生たちの念願であった。



焦土にひびく復興の槌音。 学び舎に満ちる明朗で闊達な気韻、若人が夢を語る 自由と平和の時代へ。

1945年夏、日本の無条件降伏。しかし、国民が悲嘆にくれている間はありませんでした。一面の焼け野原からの復興が始まったのです。一方で、敗戦の象徴とされたアメリカ占領軍の進駐は、キリスト教にとって新しい時代の到来を意味しました。アメリカ母教会は、東北学院にいち早く援助の手を差し伸べ、潤沢な資金を送るとともに、帰米していた宣教師や若く才能にあふれる人材を派遣し、復興に当たらせてたのです。インフレと恒常的な物資不足の中での再興は、容易なものではありませんでしたが、母教会からの物心両面での支援を推進力に、被災した建物の修復と新築が急ピッチで進められました。

民主主義にふさわしい教育をめざした国の学制改革に則って、東北学院も新制中学・高校・大学と制度を改めました。同時に、優秀な教職員の獲得、校舎や諸施設の拡充にも努め、学び舎には明るい活気がみなぎっていききました。ついには、「シュネーダー記念図書館

(1953年)」の竣工により、再び“知の大海”へと漕ぎ出す準備が整えられたのです。

戦時中は困難を極めた宗教活動も再開され、毎日の礼拝、教職員修養会、キリスト教青年会など目覚ましい展開をみせました。時、折しも“キリスト教ブーム”。人びとの興味と関心に応えるべく、本学主催のクリスマスは広く市民に公開され、評判を呼びました。戦後10年の節目にもあたる1955年には、創立70年の記念行事が執り行われ、事業の一環として1000ページにもわたる『東北学院七十年史』(花輪庄三郎編著)が上梓されました。伶俐かつ格調高い文体で、本学の来し方を編み上げた本史は、名著と呼ばれるにふさわしいものでした。

学生・生徒の課外活動にも目を見張るものがあり、特に野球やサッカーなどは数々の強豪を抑え、全国優勝の栄誉に輝きました。勉学・研究、宗教活動、スポーツ…若者が夢に向かって伸びやかに打ち込める平和の時代がやってきたのです。

❖ 次号へ続く

- | | | |
|-----------------|---|-------------------------|
| CONTENTS | 01 学窓に刻まれし歴史を旅する。
シリーズ⑥ | 11 倶楽部拝見
ヨット部 |
| | 03 SPECIAL ISSUE [わたしたちの就活]
TG座談会：就職課課長×4年生×3年生 | 12 CAMPUS NEWS |
| | 05 後援会総会報告 | 13 学務部より |
| | 06 後援会事業報告並びに予定 | 学生部より |
| | 07 CLOSE UP[同窓生インタビュー]
ユニクロ 酒井 義智さん | 就職部より |
| | 09 ゼミ・研究室探訪
クリストファー・ロング ゼミ | |

微風に揺れる木々の葉も徐々に色づき始め、秋の深まりを感じさせる時節となりました。このたび、後援会通信「GROWTH(グロース)」の秋号が完成いたしました。東北学院大学後援会の会員の皆さまにお届けできますことを感謝しております。5月の後援会総会、7月から8月の地区後援会も無事に終え、学生が円滑に勉学や課外活動に励むための支援も滞りなく進んでおります。今後も大学と家庭の架け橋となるような誌面となることを願っております。

わたしたちの就活

就職課課長 × 内定獲得!4年生 × これからがんばる!3年生

やる気と行動力で、 雇用情勢の荒波を乗り切る。

桔梗 本日の座談会のテーマは「就職活動」です。最近では略して“就活”などと言われるそうですね。4年生の平野さん、鎌田さんは見事、内定を受けました。おめでとございます。いつ頃から就職活動に取り掛かりましたか？

平野 私は、3年生の10月後半に開催されたキャリアフォーラムに参加したのが、実質的なスタートでした。早い取り掛かりとはいえませんでした。そこで、いろいろな企業の人事担当者とお会いして、気持ちが一気に就活モードになった感じです。業界は“食品”に絞っていたので、かなり効率よく就職活動できたと思います。

鎌田 以前から旅行業界に興味があって、3年生の夏休みに旅行会社へのインターンシップに参加しました。その年の9月には

「国内旅行業務取扱管理者」の資格試験を受け、取得しています。私の場合、積極的な友人からかなり刺激を受けた部分もありますね。12月には学内で開催された就職支援講演会で、人事コンサルタントの岡崎先生による模擬面接に挑戦しました。壇上に立って、それも400人以上いる聴衆の前でしたから、すごく緊張しましたが、この経験が本番の面接に生かされたように感じています。

桔梗 資格は、専攻科目以外にどんな学びの努力をしたかという指標になります。職種との関連性が薄くても、意欲や前向きな姿勢の評価につながっていきますから、もっと積極性をもって資格取得に臨んだほうがよいと思います。3年生の川越さん、鈴木さんは就活の心構えはできていますか？

川越 私は約10年ジャズダンスをやっています。夏の間は、舞台の練習に費やしてしまいました。まわりの友だちはインターン

シップなどに参加していたようで、少し焦りを感じています。もちろん踊ることが大好きなので、ディズニーリゾートやユニバーサルスタジオでキャストとして働くことにも憧れがありますが、現実はなかなか難しいと感じています。アルバイトの経験から接客業が合っていると思いますし、自己分析の結果も“行動派”ということなので、人と接する仕事かなあと漠然と思っています。

鈴木 僕はまだ業界を決めかねている状況です。あまり人と接することが得意ではないので、営業職などではなく、事務職などが合っていると思いますし、これまで簿記を勉強してきたこともプラスになるのではないかと考えています。平野さんにお聞きしたいのですが、どういう理由で初めの段階から食品メーカーに絞っていたのですか？

平野 それは生活に密着しているからです。例えば人は、ぜいたく品を買うことは我慢しても、食べることはやめませんよね。そう考えると、大きな強みだなあと思いました。手始めに、冷蔵庫に入っていた商品のメーカーを片っぱしからネットで調べたりしましたよ(笑)。

桔梗 3年生のみなさんはまだ迷いがあったり、就活への覚悟が来ていない時期だと思います。情報収集についても十分とはいえないでしょう。就職課では11月(会場:東北大学)から12月(会場:本学)にかけ



新卒を含む雇用情勢は依然として
厳しい状況にあります。そんな逆風の
なか、見事、内定を獲得した4年生、これから
就活に挑む3年生、そしてきめ細かなサポート
体制で“就職に強い東北学院”を支える就職課。
それぞれの立場から「シューカツ」を語り合いました。



法律学科4年生
平野 聖

内定先:株式会社ブルボン
アルバイト代を貯めて購入したイタリア製のクロスバイク(10万円超!)に乗って、地元就活に駆け回った行動派。サッカー日本代表を熱烈応援。



英文学科(昼)4年生
鎌田 夏美

内定先:東日本旅客鉄道株式会社 スイーツ好きが高じて始めたお菓子づくりの腕は、友人はだし、ケーキを贈った友人からは「買ってきたの?」と大賞賛。ガトーショコラが得意。



就職課 課長
桔梗 元子

茶道、生け花の見事な腕前は、京都在住時に積んだ修行の賜物。最近の趣味は、旅行。そして、愛犬(パピヨン)と戯れるひとときが何よりの癒し。



経営学科(昼)3年生
川越 美葉

身体を動かすことが大好き。ジャズダンスは小学校6年の頃から続けている。89ERS(地元プロバスケットボールチーム)のチアガールの経験もあり。



経営学科(昼)3年生
鈴木 将也

趣味は、スポーツ観戦。ジャンルは問わないが、特にサッカー日本代表の試合は欠かさない。自身もフットサルで友人と汗を流す。

て「業界研究講座」を開催します。これは東北大学との乗り入れ企画で、あわせて50数社の業界・企業研究ができます。また、先輩たちからの実体験に基づいたアドバイスや就活体験談を聞ける企画もあります。就職活動は、積極性と行動力、意欲がモノをいいますから、さまざまな機会を利用して、情報を自ら求めていく姿勢が大切です。

鎌田 情報収集については、どんな小さなことでも、自分のアンテナに引っかかったら、すぐに調べてみる。そういう探究心が最終的な結果につながっていくと思います。

桔梗 そうですね。たとえば私たちが手にするお菓子ひとつとってみても、原材料を輸入する商社、商品を製造するメーカー、パッケージをつくる包装資材会社、そのデザインを担う制作会社、宣伝する広告代理店やPR会社、流通・小売業…とありとあらゆる業種が関係しています。もちろん「この会社に入りたい!」という志は大事ですが、関連性を枝葉のように広げていくと、実にたくさんの会社や仕事の発見につながります。そういう柔らかな発想が就職活動の思わぬ助けになることもあります。

努力と忍耐ある先に、 企業とのお縁アリ。

川越 でも、これだけ厳しい就職状況の中で、果たして来年どこかの企業に採用され

るのかなと不安になります。

鎌田 私はエントリーシートを30社余りに送りましたが、最初はなかなかよい返答をいただけずに、かなり落ち込みました。正直、心が折れそうになります。でもそこでダメだと思わないことです。就活中は、気持ちも表情も常に明るく!と心がけていました。

平野 反省点としては、OB訪問をしなかったことがあります。実際に働いている先輩の話を知ることができれば、その企業のことを深く知ることができたでしょうし、それで興味が生まれれば「ここに入社したい」という強いモチベーションにつながったのではないかと思います。

桔梗 地元企業にOB・OGがたくさんいるというのは、東北学院の大きな財産です。それも要職にある方も多いですから心強いですね。会社を選ぶときは、企業スケールやブランドだけではなく、小規模な会社であっても、その将来性や可能性に、自分がどう関わっていけるかについて考えをめぐらしてみるのもよいでしょう。

平野 思い返すと、就活中は落ち込むことが多かったし、自分を見失ってしまいそうにもなりましたが、今となってはそれによって鍛えられたし、強く成長できたと思自負しています。でも、首都圏の学生と比べて、かなりのんびりしている印象が否めないと思います。

鎌田 そうですね、私は意識して、早い時期から就職課に出入りしていました。やは

り情報は努力してつかんでいかなければ…。

鈴木 とにかく積極的に取り組んでいくことが大切なんですね。とても参考になりました。今、アルバイト先では意識して言葉遣いなどに気をつけるようにしています。これが就活に役立てばよいと思います。

川越 今日は先輩の生の声をきくことができ、ほんとうによかったです。まずは就職セミナーや業界研究講座に参加すること、人事担当者の方とお話をして質問する力を養うこと、そしてネットなどのツールも有効に活用して、いろいろな情報を集めていきます。

桔梗 これからも企業の厳選採用傾向は続くことでしょう。しかし、これまでたくさんのケースをみてきましたが、就職はめぐり合わせ、縁なのだなと思うことがしばしばあります。ご縁を得るためには、我慢強く根気よく取り組むことです。そのためにも就職課を上手に利用して欲しいですね。そして、石の上にも3年といえます。採用されたからには、思うようにいなくても3年はがんばってほしい。それまでに蓄積したスキルと経験知をもってすれば、次なる希望の星を発見できることもあるでしょう。みなさんのご健闘をお祈りいたします。

※文中、敬称略

座談会の詳しい内容は後援会ホームページ
<http://www.tgu-kouenkai.org/>
に掲載しております。ぜひご覧ください!!

平成21年度 東北学院大学後援会総会 次第

次第

- 日時 平成21年5月16日(土) 10時55分
- 会場 東北学院大学泉キャンパス礼拝堂
- 司会 後援会事務局長 門脇 邦知

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 開会宣言 | 司 会 者 |
| 2. 聖書朗読並びに祈祷 | 宗 教 部 長 佐々木 哲夫 |
| 3. 挨拶 | 会 長 丸 森 仲吾
学 長 星 宮 望 |
| 4. 議 事 | |
| (1)平成20年度後援会庶務報告について | 庶務担当理事 高 橋 祥 允 |
| (2)平成20年度後援会収支決算報告並びに
会計監査報告について | 会計担当理事 小 濱 良 雅
監 事 浅 野 ひとみ |
| (3)平成21年度後援会事業計画(案)について | 庶務担当理事 高 橋 祥 允 |
| (4)平成21年度後援会収支予算(案)について | 会計担当理事 小 濱 良 雅 |
| (5)その他 | |
| 5. 後援会役員紹介 | 司 会 者 |
| 6. 閉 会 | 同 上 |



丸森会長挨拶



総会の様子

泉キャンパスに、約1,300名のご父母をお迎えし、平成21年度の後援会総会並びに大学開放プログラムを開催いたしました。総会で審議されました内容は次のとおりです。

(1)平成20年度後援会庶務報告について

高橋祥允庶務担当理事より、役員人事、平成20年度役員会、平成20年度後援会総会並びに大学開放プログラム、平成20年度地区後援会実施状況について報告があり、原案通り承認された。

(2)平成20年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告について

小濱良雅会計担当理事より報告があり、原案通り承認された。浅野ひとみ監事より帳簿等が正確に整備されていることについて報告がなされた。



(3)平成21年度後援会事業計画(案)について

高橋祥允庶務担当理事より、平成21年度後援会総会、平成21年度地区後援会について説明があり、原案通り承認された。

(4)平成21年度後援会収支予算(案)について

小濱良雅会計担当理事より説明があり、原案通り承認された。

平成21(2009)年

4月 6日(木) 【入学式】／後援会入会式(於:仙台市体育館)
後援会通信
「GROWTH(グロース)」第14号発行

4月24日(金) 後援会役員会(於:土樋キャンパス)

5月 「父母のための大学ガイド2009」発行

5月16日(土) 後援会総会(於:泉キャンパス)

7月11日(土) 地区後援会(八戸・秋田・山形)

8月 7日(金) 地区後援会(鶴岡・いわき・東京)

8月 8日(土) 地区後援会(酒田・原町・宇都宮・福島)

8月20日(木) 地区後援会(北上・横手)

8月21日(金) 地区後援会(一関・新庄・会津若松)

8月22日(土) 地区後援会(気仙沼・米沢・新潟・盛岡)

8月27日(木) 地区後援会(大館・宮古)

8月28日(金) 地区後援会(函館・弘前・釜石)

8月29日(土) 地区後援会(札幌・青森・大船渡・郡山)

9月10日(木) 東北学院大生のための合同企業セミナー
(於:仙台サンプラザホール)

10月～11月 職業人によるトークイベント(1・2年生対象)
後援会通信
「GROWTH(グロース)」第15号発行

12月4日(金) 後援会役員会(於:土樋キャンパス)

平成22(2010)年

2月 8日(月) 企業研究セミナー(於:仙台サンプラザホール)
?

10日(水)

2月 エントリーシート添削講座

3月24日(水) 【卒業式】(於:仙台市体育館、11:00～12:30)

※【】内は大学主催の主な行事。予定は変更になる場合もあります。

後援会では、在学生の円滑な学生生活と大学の充実発展に寄与するため、
“大学と家庭をむすぶ”をモットーに、各種事業を展開し、
以下のような助成をおこなっております。



体育会、学生会、文化会等の
課外活動団体への助成

東北学院大学
給付奨学金への助成

東北学院大学
緊急給付奨学金への助成

就職活動に対する助成
合同企業セミナー開催、職業人による
トークイベント開催、面接フォローアップ講座開催、
企業研究講座開催、エントリーシート添削講座開催など

CLOSE
UP

完全実力主義の下、
あくなき挑戦は続く。

株式会社ユニクロ 営業部 スーパーバイザー

酒井 義智さん

多賀城高等学校から東北学院大学経済学部商学科に入学。1999年4月に(株)ユニクロ入社。山形や仙台、秋田、北海道への店舗配属、店長経験を経て、スーパーバイザーに。

衣料品流通業の前衛を走る。

業務に対して適正な評価を得られる。
ユニクロは挑戦の場を与えてくれる会社。

営業部、スーパーバイザー。それが衣料品流通業に革命をもたらしたユニクロにおける、酒井さんの肩書さだ。「私に与えられた業務は大きく分けてふたつ。ひとつは現場での気付きや商品提案を発信し、本部の仕組みをより良い方向に変えていく全社の業務改善。そして店舗において店長やスタッフの指導にあたり、お客さま満足を実現させる店舗経営支援です」。現在は新潟市近郊の7店舗を管轄し、慌ただしく日々が続く。それでも9店舗約600人スタッフを対象にしていた一時期に比べると、まだ目が行き届きやすいという。「店舗経営支援では、一日に2店舗ほどに顔を出します。そこで最も注視するのはやはりお客さまの視点なのですが、店舗を運営していくのはあくまでスタッフ。店長はじめスタッフ間のコミュニケーションが円滑であることが鍵になりますので、店内の空気感、雰囲気は最初にチェックしますね」。基本的に指導の対象となるのは、スタッフの動きを管理する店長。ただし、当人のコミュニケーション能力や経験により改善が困難と判断した場合は、自らスタッフに直接指導することもある。「対象店舗のスタッフ総数は約300人。実はまだ新潟に赴任したばかりで、名前と顔を覚えるだけでも一苦労という状況です。そうした中で、スタッフ一人ひとりが“以前に比べて成長したな”と感じられる瞬間はうれしいものです。また、提案内容が商品に反映されるなど、自分からの発信で全社に良い変化が生まれる際も同じ。挑戦の場を与えられ、適正な評価を得られるユニクロの企業姿勢はやりがいに結びついています」。

現状に甘んじることなく、さらに上へ。
開拓を続け、めざすべきは最先端。

店舗配属から半年で店長へ。酒井さんが入社した10年前も、そして今も、ユニクロではこうした指命が新入社員に課せられるという。「弊社では企業方針を強く掲げており、その中に完全実力主義という項目があります。もともと服に興味はあったのですが、志望理由は企業方針に強



く惹かれた部分が大きいですね。私の場合、店長になるまで一年半ほど時間を要しましたが、当時は死ぬ気で自身のレベルアップに励んだことを思い出します」。入社後、10年間で赴いた地域は11カ所。現在に至るまでに経験したすべての時間が、酒井さんにとって糧であり財産として深く刻み込まれている。そして学生時代もまた、確固たる礎を築くための貴重な期間だったと振り返る。「勉強、サークル、アルバイト、それから遊びを含め、興味があることは4年間ですべてやりきった感があります。社会に出る前、学生の間に自分の時間を有意義に使い、多くを経験できたことは今に生きています。例えばアルバイトスタッフが就職に関して悩んでいる際、経験を基にアドバイスを送ることもできますし、若いスタッフと接する際に大いに役立っていますよ」。店舗スタッフを経て、店長を務め、スーパーバイザーへ。順調にキャリアを積み重ね、今や重要なポジションを担う酒井さんだが、その視線はさらに前を向いている。「具体的には海外展開や新規事業の中心、また営業の責任者もめざすところですね。やはり挑戦できる場が用意される以上、目標は高く設定し、最先端でやっていきたいと思えますから」。

プレミアムダウンジャケットや新発売のシューズなど注目商品が数ある中で、冬のイチオシとして酒井さんが愛めるのがヒートテックだ。「今年は昨年の2倍以上生産していますので、お客さまにご迷惑をお掛けすることなく購入いただけると思います。カラーバリエーションも豊富で、さらに新しい色も登場すると思います」。



学びの風景、研究のフィールド。

グローバル時代において要請の高まる**異文化間コミュニケーション**。
語学の習得だけではなく、多様性や異質性を認め合い、誠実に真剣に他者と関わっていく
スタンスが大切です。

■ 文学部英文学科 クリストファー・ロング ゼミ

**メキシコや日本での異文化体験が、
専門研究分野の源泉に。**

「はじめまして、よろしくお願ひします」。流暢な日本語と丁寧なあいさつで私たち取材班を迎えてくださったロング先生。思わず「母語は何語ですか」と訊ねてしまったほどです(※『英語』です)。

初来日は1989年。「たまたま」「偶然」とも形容できるような出来事が機縁となり、日本を訪れ、住み続けることとなりました。「大学ではラテン地域研究を専攻しており、学部生時代は2年間メキシコに留学していました」。そこで外国生活の面白さに開眼。卒業後は、小学生の心理カウンセラー(家庭内暴力等により心に傷を負った児童対象)の職を得るものの、もっといろいろな国を見てみたいという気持ちが募っていき、「そこでピース・コープス^{*1}に応募し、幸いにも採用されましたが、派遣地が決定するまでに半年の猶予がありました。その間、何をしようかと考えたときに、友人が日本に住んでいるのを思い出し、軽い気持ちで来日したのです。もちろん日本語はまったく話せません

でした」。アルバイトをして滞在費を得ようとするものの、思うようにはいかず、神戸YMCAへの採用が決まった頃には、本格的に日本語を勉強したいという志を抱くようになりました。

猛勉強の末、研究生として大阪大学大学院に入学し、修士課程を修了したのが、1998年。その間、日本人女性と結婚し、家庭を築きました。そして再び、アメリカの大学に戻り、博士号を取得。再来日を果たし、現在では、大学で教授する立場となりました。「20年前に来日した時、日本に関する知識はほとんどゼロでした。しかし、たくさんの人とのふれあいの中で、日本という国を知り、人を介して文化への理解を深めていったように思います」。メキシコや日本で遭遇した異文化体験は、ロング先生の専門研究分野の源泉にもなっています。

**言葉、プラスアルファで成り立つ
対人コミュニケーション。**

ロング先生の専門は「社会言語学」。コミュニケーション

に影響を及ぼす社会的・文化的要素を探究することが研究の主な柱です。また、日本における異文化間コミュニケーションも研究テーマのひとつ。これは、日本人が外国人に対して持っているイメージやステレオタイプがどのようにコミュニケーションに影響を及ぼしているかの考察です。早速、後者に関する一例を挙げてみましょう。取材の冒頭、日本語に堪能なロング先生に「母語は何語ですか」と訊きました。しかし、国際化が進展する現代社会においては、その国の言葉をどれだけ自由に操れるかということは、内国人と外国人を区別する基準にならないということに配慮しなくてはならないでしょう。“外国人

*1 平和部隊。1961年設立。アメリカ政府が運営するボランティア機関であり、現在70以上の開発途上国で、教育、農業、ヘルスケア、情報技術、環境保全などの技術支援を行うとともに、国際相互理解を図っている。

「大学での勉強は与えられるものではなく、自ら求めていくものなのではないでしょうか」。ロング先生の研究室の扉は、質問や相談のある学生さんのためにいつも開かれています。

文学部 英文学科

クリストファー・ロング 准教授

1965年アメリカ合衆国ニューヨークで生まれ、1986年から1988年までメキシコ市国立大学で2年間留学、1998年に大阪大学文学部の修士号、その後、2003年に南カリフォルニア大学で博士号を取得した。2003年から2005年まで上智大学外国語学部英語学科、そして2005年から現在に至るまで東北学院大学文学部英文学科で准教授として勤める。専門分野は社会言語学。





研究室の壁に飾られているのは、学生さんから贈られた色紙。「いつもさわやかで明るい」「かっこいい」「やさしい」「若々しい」という言葉が並びます。



「幼稚園英語活動サークル(会員15名)」の顧問を担当しているロング先生。年に10回程度、東北学院幼稚園を訪れ、遊びを通じて簡単な英語のフレーズを教えたりするなどの交流を行っています。写真は、今年のハロウィーンの様子。

だったら、日本語が不得手なはず”と
いった固定的・画一的な観念やイメージ(ステレオタイプ)は、個人の相違や特異性を隠してしまう危険性もあります。これが異文化間コミュニケーションの難しさです。

「伝達したいことが100%言葉に潜んでいるわけではありません。互いに共有している価値観や常識(文化)でもって、言葉の含意を補ったり推測したりしている場合が多いのです。たとえば、何かを頼んだ時、『ちょっと…』と語尾を濁した返答だったら、日本人ならば『ああ、おそらくは無理なんだ』とわかりますが、これがアメリカ人ならば『ちょっと…とは何だろう。YESなのかな、それともNOかな』と思うわけです。さらに、私たちは表情やしぐさ、声の質・出し方、沈黙といった非言語メッセージによって伝え合っている部分もあります。これは国ごとの文化慣習によって、解釈が大いに異なるところですよ。このようにミスコミュニケーションの原因となるものは多々あります。齟齬があつてもどちらが悪いということではなく、コミュニ

ケーションについてはお互いに責任を負うという姿勢が大事になってきますね」。ひと頃、英会話スクールのテレビコマースで盛んに喧伝された“異文化コミュニケーション”、それは語学の習得に限ったことではないということが、ロング先生のお話からわかります。

グローバルな視座から立ち現れる 日本文化の美点。

東北学院の学生さんにどんな印象を持っていますか?との問いに、英文学科の学生しか知りませんが、という前置きのうえで「とても真面目ですね。積極的だとは言いかねる部分がありますが、与えられたタスク(課題)に対して、非常に熱心に取り組んで、ゆっくりと結果を出していくタイプが多いようです」とロング先生。続けて、日本という国をどう思いますか?といういさかかぶしつけな質問をぶつけてみました。「個人的には好きですね、そうでなければ20年近くも住んでいないと思います。昨今ではさまざまな分野で国際標準化が進んでいますが、日本が何千年という歴史と風

土のなかで培ってきた文化に、もつと誇りを持ってよいのではないかと考えることもしばしばです。たとえば料理やもてなしは、他国と比べてもたいへんに繊細で素晴らしいものがあります。私はウイスキーが好きで、食事に行くときよくオーダーしますが、アメリカではグラスにガーッと細かく砕いた氷を入れて、これまたバーッとウイスキーを注いで、ドン!どうぞ、です(笑)。それはそれで肩の凝らない親しみがありますが、日本のお店のようにはグラスにピッタリとはまった丸い氷の上に、うやうやしくウイスキーが注がれるという美しい情景は期待できません。これは私が感じるほんの一例ですが、もつと自国の文化に対する肯定感を大切にしようかと思えます」。グローバルな視座のなかから立ち現れる日本という国の有り様、美点、あるいは欠点。ロング先生の教えは、これからの国際化社会を生きる学生さんの大きな糧となっているに違いありません。

MY FAVORITE

私のお気に入り

「オタクじゃないんだけど(笑)」と言いながら撮影に応じてくださったロング先生。専門書が並ぶ書籍棚に、カラフルでユニークな彩りを添えているのはフィギュア(立体造形物)。「息子が幼稚園児だった頃に流行していたアニメキャラクターです。欲しいとねだられましたが、買い与えることはせず、私が作りました。全部で200体ぐらいあるでしょうか。自立させるのに工夫が要るんですよ。細やかなところまでいねいに再現されている、愛情たっぷりの力作です。フィギュアに夢中だったご息も今や中学生。野球部に所属し、地域の大会では敢闘賞にも輝いています。お子さんはほかに高校生と小学生のお嬢さまがいます。



▲とても手作りとは思えない精巧さ

倶 楽 部 拝 見

ヨット部



ヨット部キャプテン
齋藤 智子 さん
(文学部 歴史学科4年)



かつて全日本インカレで総合優勝を果たし、大学の頂点を極めたヨット部。その歴史は50年を超え、数々の大会で名を轟かせた名門サークルのひとつだ。しかしここ数年は決して部員数に恵まれているとは言えず、参加できる大会が限られるケースもしばしば。最大の目標となる全日本インカレに出場するには最低でも3艇、6人が必要とされるが、今年の部員は4人で全員が女子。勝敗を気にせず、好きなヨットを楽しめれば、と気弱になりそうところだが、唯一の4年生となる齋藤智子キャプテンは勝負へのこだわりを捨てない。「私は次の大会で引退。ここでいい成績を残せなければ大学でヨットを続けてきた意味がなくなってしまうので」。この時、齋藤キャプテンが指した次の大会とは、9月に開催された全日本女子インカレだ。昨年出場した同大会での順位はほぼ中間。本人にとってラストイヤーということもあり、今年は人一倍強い思いで挑もうとしていた。

ヨット部が普段練習をするのは名取の関上浜。土日中心の練習は、時にOBから指導を仰ぐこともあるが、基本的に自分達でメニューを組み立てレベルアップを図っている。



「ヨットは体力半分、頭脳半分と言われるスポーツ。とても奥が深く、年齢も性別も関係なく勝負できるのが魅力です。体力がなければ頭脳でカバーできますし、練習も“考える”ことが大事ですね」と齋藤キャプテン。方向転換のタイミング、刻一刻と変化する風への対応、それらは経験でしか体得できない。

そして、持てる力をすべてを出し切った全日本女子インカレ。目標の6位入賞には惜しくも届かなかったが、残ったのは後悔ではなく達成感。一途なまでに傾けた水上への情熱は、東北学院大学ヨット部の伝統とともに後輩に引き継がれていくに違いない。

新型インフルエンザへの対応

現在、パンデミックとして世界的な脅威となっている新型インフルエンザの流行に対応して、東北学院大学は特別委員会を設置いたしました。委員会は、学生・教職員の罹患を防ぐため3キャンパスに手洗い用消毒液を配備し、また、学内啓蒙活動としてホームページへのインフルエンザ対応情報の定期的な掲載や、各キャンパス内の掲示物等を利用した周知など、感染の拡大を防ぐための予防措置を講じています。

具体的な内容として、感染の症状がみられた場合には、直ちに大学に連絡するとともに、近くの医療機関等に電話で相談し指示を受けること。

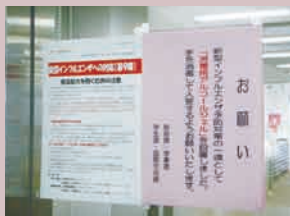
相談後及び受診後は、その結果を大学に報告すること。感染が確認された場合には、発症から1週間は自宅待機とし、医師の許可を得るまでは登校しないこと。治って登校する際には、医師の診断書等を提出することなどの措置を行っております。

さらに、「かからない」「うつさない」ための普段のこころがけとして、「手洗い」と「うがい」を励行する。建物・教室の出入り口では除菌液を使用する。「咳エチケット」を守り、他人に咳やくしゃみをかけない(袖で口を覆うと効果的)。栄養・休養・睡眠を十分に取る。人と長時間密着する所、及び混雑する所では、できる

だけマスクの着用を心がける。身近に接触することが多い人(同居家族、課外活動団体の仲間など)が発症した場合は、前述の内容を心がけ、ウィルスを媒介しないように特に注意などをホームページや学内の掲示でお知らせしています。

本学では、今後の気候変動とともに、さらに感染の拡大が懸念され、ますます罹患者の増加が予想される中、予定の入学試験等への影響を非常に心配しておりますが、国及び地方の公的機関より寄せられる情報をもとに、感染の拡大を防ぐため特別委員会を中心に学生・教職員が協力し感染予防に取り組んで参ります。

学内各所に新型インフルエンザ予防対策として、「消毒用アルコールジェル」を設置しておりますので、ご活用ください。



MESSAGE

学務部 より

授業の内容紹介(シラバス)が 一層親切になります

学務部長

井上 義比古

来年(2010年)度から、授業内容紹介が、学生の主体的な学習を重視し、一層分かり易く親切なものへと大きく変わります。

大学では、少数の必修科目を除いて、どの科目を勉強するかは学生が自分で選択して決めます。この選択に際して最も重要なものが、『大学要覧』に記載されている、科目ごとの授業内容紹介(シラバス)です。これまでも、東北学院大学のシラバスは、より分かりやすくなるように変化を遂げてきていました。しかし、以前ご紹介したように、授業のもつ重みが増してきたため、シラバスにも一層の進化が求められていたのです。

従来のシラバスには、授業のテーマ、講義内容、授業計画、テキスト、成績評価方法、関連して受講することが望ましい科目、参考書、履修上の注意といった項目があり、科目選択の参考となると同時に、授業の進行を見通すことを助けていました。新しいシラバスには、①通年の授業では30回分、半年の授業では15回分の授業計画を必ず記載する、②学習者の視点から見た授業の到達目標を記載する、③授業を受けるために必要な準備を明記する、という要素が加えられ、他の要素も記述が一層明確化されました。

シラバス改定の目的は、①教える側が授業の目標や

進行を一層自覚する、②学ぶ側が授業の目標や進行を予め知り、一層の自覚を持って授業を受ける、③それらのことを通じて、授業の効果を高める、ということにあります。この目的の達成には、教える側の努力はもちろんですが、学ぶ側にも一層の自覚と努力が必要です。学生全員に配られている『大学要覧』をご覧のうえ、ご家族の話題に加えてくだされば幸いです。

MESSAGE

学生部 より

充実した学生生活をおくるために

学生部長

辻 秀人

学生部では充実した学生生活を送ることができるように健康管理、経済的支援などの学生生活をサポートする仕事を行っています。

健康管理では、学生全員を対象とした定期健康診断を行っています。各キャンパスには保健室があり、常時健康相談を受け付けるとともに、定期的に校医が診察、健康相談に応じています。精神的に不安定な場合には全学的な組織であるカウンセリングセンターが対応しています。大学生活は授業時間の関係もあって不規則になりやすく、また、精神的悩みを持ちやすい時期でもあります。心身の健康を維持するため、これらの制度をご利用いただくようお勧めします。

経済的支援では、日本学生支援機構の奨学金申請の手続きを行うとともに、本学独自の奨学金制度を設

けています。最近では経済的環境が厳しくなり、学生生活を継続することが困難になるケースが増えてきました。本学ではできるだけ学生生活を継続できるように、後援会のご援助をいただき、返還の必要がない給付奨学金を新たに設けました。給付奨学金には毎年春に受付けるものと、経済状況急変に対応するために随時受付けるものとの2種類があります。その他各種の奨学金制度がありますので、必要に応じて学生課にご相談いただければと思います。

学生部ではそのほかに課外活動や生活など学生諸君のよろず相談を受付けています。ご子女の学生生活で困ったことがあれば学生部に相談するよう、ご指導をお願いいたします。

MESSAGE

就職部
より

厳しい就職戦線 最後まで諦めないで

就職部長

前田 修也

先ごろ日本経済新聞社が行ったアンケートによると、来春(2010年)の一部上場新卒採用の内定者は、今春入社社員に比べて3割以上減ることが明らかになりました。このような逆風をうけながらも、必死になって就職活動を続けている学生達に、出来るだけ良質で、数多くの就業機会を提供するために、就職部ではさまざまな行事を企画しております。夏休み明けの9月10日(木)

には、本学就職部並びに東北学院大学後援会主催で、来春卒業予定の本学学生を対象とした「合同企業セミナー」を開催しました。昨年の倍近い学生が参加して、熱心に企業(66社参加)側の説明に耳を傾けておりました。また、10月以降には宮城労働局主催の企業面接会やフォローアップセミナーなどが予定されています。未内定者は是非このような機会を有効に活用して、就職活動に役立ててほしいものです。

現3年生に対する就活支援も、本格化してきました。夏休み中に行われたインターンシップの事後報告会を皮切りに、就職活動ガイダンス、適性検査・対策試験や先輩アドヴァイス会など盛り沢山です。さらに、就職課では企業側から来る求人情報等を、逐次、経験豊富なスタッフが提供しております。どうか、ご子女には積極的に各キャンパスの就職課に足を運び、最後の最後まで諦めずに、この厳しい就職戦線を乗り切ってもらいたいと願っております。

後援会ホームページOPEN!

<http://www.tgu-kouenkai.org/>

東北学院大学後援会のホームページがオープンいたしました。後援会の最新情報をお届けするほか、後援会総会・地区後援会のご案内、後援会通信のバックナンバーなど随時更新いたします。

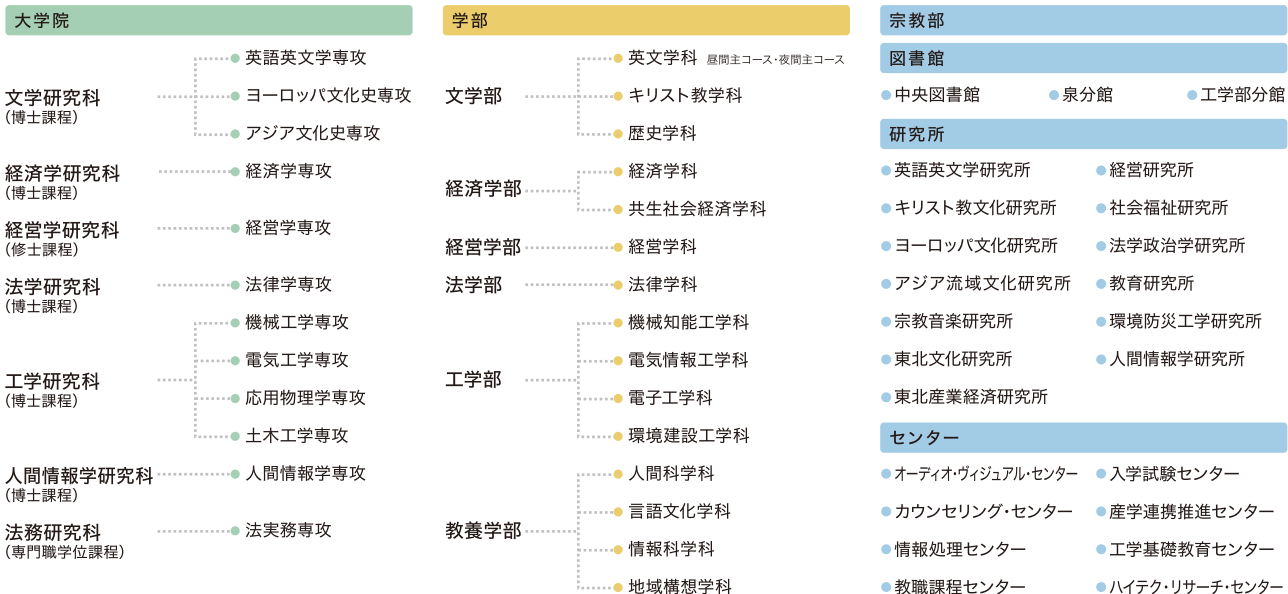


任期(平成20年5月18日～平成22年5月後援会総会)

- **会長** …………… 丸森仲吾(仙台市)
- **副会長** …………… 三島卓郎(仙台市)・後藤久幸(仙台市)
- **庶務担当理事** …… 高橋祥允(仙台市)
- **会計担当理事** …… 小濱良雅(仙台市)
- **理事** …………… 伊東知男(仙台市)・寒江江満子(仙台市)・佐久間敬子(仙台市)・村山令記(仙台市)・渡辺静吉(仙台市)・門脇利勝(石巻市)・桂久(札幌市)・成田智典(青森市)・松本宏(八戸市)・小野寺久美子(秋田市)・深澤禎彦(横手市)・工藤敏納(盛岡市)・大友敏男(宮古市)・及川和夫(北上市)・浦島康弘(大船渡市)・金子泰雄(山形市)・鈴木信一(酒田市)・國分容子(福島市)・只野裕一(相馬市)・福井丈夫(新潟市)
- **監事** …………… 白木進(仙台市)・浅野ひとみ(仙台市)・菅野雅之(仙台市)
- **顧問** …………… 平河内健治・星宮望
- **参与** …………… 柴田良孝・齋藤誠・遠藤健一・原田善教・山本展雅・高木龍一郎・遠藤銀朗・佐々木俊三・日野哲・佐々木哲夫・井上義比古・植松靖夫・辻秀人・前田修也・佐藤司郎・秋葉勉・松澤茂・佐々木文彦
- **事務局長** …… 門脇邦知
- **事務局員** …… 今野靖・菅野健・丹野光雄・佐藤勇三・佐藤光男・菅井研・荒孝夫・桔梗元子・石井勝雄・渡邊義春・草野正聡

ORGANIZATION 教学組織図

平成21(2009)年4月1日現在



東北学院大学

<p>土樋キャンパス</p> <p>大学院：文学研究科、経済学研究科、経営学研究科、法学研究科、法務研究科</p> <p>学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各3・4年)・夜間主コース</p> <p>〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6421(総務課) fax 022-264-3030(//)</p>	<p>多賀城キャンパス</p> <p>大学院：工学研究科</p> <p>学部：工学部</p> <p>〒985-8537 多賀城市中央1-13-1 tel 022-368-1116(庶務係) fax 022-368-7070(//)</p>	<p>泉キャンパス</p> <p>大学院：人間情報学研究科</p> <p>学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各1・2年)・教養学部</p> <p>〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1 tel 022-375-1121(庶務係) fax 022-375-4040(//)</p>
--	--	--

東北学院大学後援会通信 GROWTH(グロース) vol.15 ■ 本誌に関するご意見・ご要望を待ちしております。

発行日/平成21(2009)年10月
 編集/東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)
 発行/東北学院大学後援会 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6411 fax 022-264-3030
 E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp URL http://www.tgu-kouenkai.org/
 印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社

【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載は断りしております。
 【「個人情報保護法」への取り組みについて】平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」にのっとり、個人情報の適正な管理と保護に努めています。後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様のご個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。なお、後援会事務局で使用している個人情報の利用目的は次の通りです。
 ●「父母のための大学ガイド」並びに「後援会通信「グロース」」の発行・送付 ●「後援会総会」並びに「地区後援会」の案内 ●その他、上記に関連する業務

○GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を充分に修め、神と共に視えつつ大きく成長するようという期待が本誌に込められています。

